

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	音楽ゼミ1	
科目基礎情報					
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時限数	15時限
単位数	1単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。また練習問題なども必要であれば配布する。				
担当教員情報					
担当教員	山田 素子		実務経験の有無・職種	有・制作	
学習目的					
舞台や演劇スタッフとして必要である音楽の基礎知識を学び、楽譜の読み方が出来るようになる。この科目を通じて舞台の裏方として音楽を身につける事でより現場で即戦力となる事を意識する。楽譜が読める事で更に演者や周囲のスタッフとの意思疎通が取れるようになり、より社会的活動に幅が広がる事を理解する。また、音を楽しむ/親しむ感覚を育み、グループワークをする事でコミュニケーション能力を高め、人間的資質の向上を図るのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生がクラシック音楽やポピュラー音楽の楽譜が読めるようになることを目標としている。舞台のスタッフとして楽譜が読める事でより即戦力となる事を意識していく。また、音楽に対し苦手意識のある学生には、基礎的な知識を習得するプログラムを組み立て、最終的には音を楽しむ・親しむ事が出来るような授業展開をしていく。例えば後期授業のＳＴＯＭＰ発表など。音楽演奏などを通じ、コミュニケーション能力を身につけ、社会にでてから活動するために必要な能力を理解する事を目標としている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。音楽の基礎知識を理解し、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら授業を進める。また、ＳＴＯＭＰ発表など、チームに分かれて練習～発表を行う事で表現力やコミュニケーション能力も身につける。				
注意点	この授業では、学生と教員のコミュニケーションはもちろんの事、音楽が得意な学生と苦手意識のある学生とで課題に取り組み（グループワーク）学生間のコミュニケーション能力も重視する。但し、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応し音楽に真摯に向き合う事を求める。単に授業に出席するだけでなく、主体的に学ぶ姿勢や周囲との連携も求めていく。（詳しくは、最初の授業で説明）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	グループワーク	30%	授業を主体的に授業に取り組んでいるのかを評価する		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（１回～１５回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
１回	講義の目的/五線譜について		音楽が仕事に結びつく理由、授業の目標について理解する		
２回	基礎的な音符		基礎的な音符の復習		
３回	音の長さについて		音符の名称と長さについて理解する		
４回	音の高さについて		大譜表から音の高さを理解する		
５回	小節と拍子記号について		小節と拍子の意味を理解する		
６回	付点音符と休符について		基礎的な音符から付点音符、休符を読み解く		
７回	タイやリピート記号について		楽譜の中のタイやリピート記号に注意して音符を読む		
８回	リピート記号とリズム		リズムを打ちながらリピート記号のある楽譜を読み解く		
９回	臨時記号、装飾記号について		臨時記号や装飾記号の意味を理解する		
１０回	記号に注意して楽譜を読む		楽譜を通し、記号が理解できるか、確認する		
１１回	音程とボディパーカッション		1度、3度、5度の音程を学ぶ。ボディパーカッションでリズムを刻む		
１２回	基礎音程について		度数の基礎、3度の練習を行う		
１３回	リズムを感じる		チームに分かれてボディパーカッションを練習する		
１４回	発表		チームでボディパーカッションの発表を行う		
１５回	まとめ		前期のまとめ		